

くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 京都市議員 西野さち子 です！

発行：2020年4月12日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3-8-1 日本共産党伏見地区委員会 TEL:075(611)9135 FAX:075(602)9117



自粛と補償は一体で！！ 新型コロナ問題で 共産党市議団が街頭宣伝

今こそ政治決断を

新型コロナウイルスに感染する人が、京都市内でも増え続けています。多くの皆さんの日常生活に様々な形で影響と不安が広がっています。しかし政府や京都市は具体的な対応策をなかなか打ち出しません。日本共産党市議員団は、4月2日に三条河原町で宣伝を行い、現時点での融資制度や生活支援策、労働相談窓口などをお知らせしました。

地域を回って声をお聞きすると、個人商店では飲食店は「一日にお客が2人の時や0人の時もある。」書店は「病院に雑誌を定期的に配達していたが、感染源になるかもと言って、しばらく断ると言われた」高齢者世帯は「電話で友達と話す以外は家にこもっておかしくなりそう。」「マスク



2枚郵送するくらいなら、医療機関にあげて」「政党助成金を何百億円も配るなら、そのお金で生活支援をしてほしい」など、様々な声が寄せられます。自粛と補償は一体ですべきです。声をあげ、くらしの支援と雇用を守るために力を合わせましょう。

いま必要なのは「病院・ベッド・マスク・保健所」
戦闘機の購入費や政党助成金は全部コロナ対策に

市民のみなさんの願い実現へ市議会で徹底論戦！！

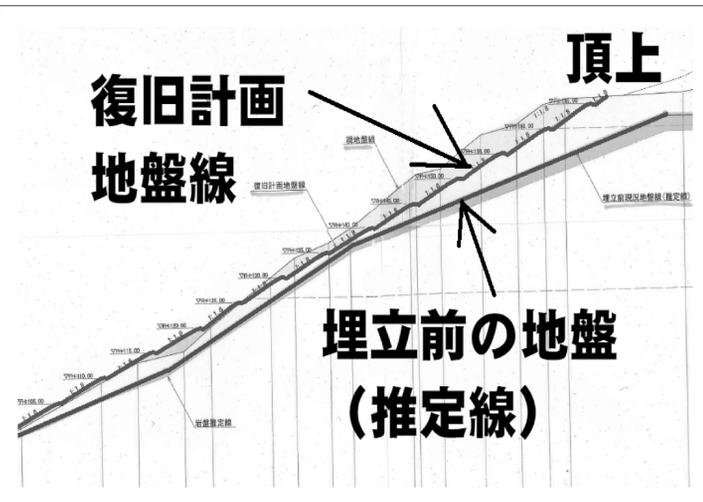


土砂条例の修正を提案（2月市会）

大岩山が土砂崩れを起こし、土石流が民家の10メートル先まで迫るといった事件が起こって以来、二度と同じことが起こらないために、日本共産党は京都市土砂条例の制定を求め続けてきました。当初は必要ないと言っていた京都市も、ようやく必要性を認め2月市会に条例を提案しました。しかし、市民からは「府の条例より厳しいものに」と言う声が多く出されました。また、抜け穴もあり、西野市議は「規制基準を3000㎡から500㎡にすること。公共工事は許可申請

不要になっている項目の削除。土砂のチェックが目視のみの為、後で確認できるように報告書に写真を添付すること」の3点を修正提案しました。

共産党以外の議員は一言も意見を言わず反対しました。共産党の修正は通りませんでした。不十分であっても条例制定は必要のため賛成しました。今後も修正を提案し続けます。



太い線が埋め立て前。その上が持ち込み土砂。更にその上に土砂を盛る部分と削る部分がある。

危険な大岩山の安全対策「土砂を撤去して元の山に戻せ」

京都市はようやく大岩山の是正工事計画を受理しました。民間業者が提出した工事計画の設計図は、京都市の計画と99%一致するとして受理し、今後2年かけて工事を行うという事です。

しかし、これまで「持ち込まれた土砂のほぼ全量を撤去させる」と言ってきた京都市が受理した工事計画書は、撤去される土砂はわずかで、西側の谷を埋め、持ち込まれた土砂の上に更に土砂を盛る計画です。その上、頂上の産廃はそのままで南側斜面を切土と盛土で固めるのみです。排水路は土の上に溝を掘るだけで、地下にしみ込んだ雨は土砂を流す危険があります。調整池や擁壁をつくるもののどれだけの土石流を食い止められるのかは不明です。

地元住民からは「頭の上に爆弾を抱えて不安な生活をしなければならない。土砂を撤去して元の山に戻してほしい」と訴えられています。